

## 第3回 信濃川中流及び魚野川大規模氾濫に関する減災対策協議会 議事概要

1. 日 時：平成29年4月19日（水）13：30～15：00

2. 会 場：長岡市消防本部 4F 研修室

3. 出席者：

### ■構 成 員

新潟市長 篠田 昭（代理：危機管理監 若杉 俊則）

長岡市長 磯田 達伸（代理：危機管理監 金子 淳一）

三条市長 國定 勇人（代理：総務部行政課防災対策室長 米持 克広）

小千谷市長 大塚 昇一（代理：危機管理課長 谷口 豊）

見附市長 久住 時男（代理：建設課長 高山 明彦、企画調整課長補佐 大野 務）

十日町市長 関口 芳史（代理：防災安全課長 星名 一弘）

燕市長 鈴木 力（代理：防災課長 今井 和行）

魚沼市長 佐藤 雅一（代理：総務課危機管理室長 樋口 敬一）

南魚沼市長 林 茂男（代理：総務部長 今井 久夫）

津南町長 上村 憲司（代理：総務課長 根津 和博）

湯沢町長 田村 正幸（代理：総務管理課長 前原 力）

弥彦村長 小林 豊彦（代理：総務課交通防犯係長 平原 勝一郎）

新潟県新潟地域振興局地域整備部長 久須美憲二

新潟県三条地域振興局地域整備部長 宮野 岳

新潟県長岡地域振興局地域整備部長 大野 昇

新潟県長岡地域振興局地域整備部与板維持管理事務所長 田辺 一喜

新潟県長岡地域振興局地域整備部小千谷維持管理事務所長 今井 英伸

新潟県魚沼地域振興局地域整備部長 諏佐 夏夫

新潟県南魚沼地域振興局地域整備部長 高橋 忠栄

新潟県十日町地域振興局地域整備部長 外川 忠利

東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所長 岩本 剛夫

電源開発（株）東日本支店 小出電力所長 新國 雅之

東北電力（株）長岡技術センター所長 石川 忠

東京電力パワーグリッド（株）信濃川電力所長 小菅 美佳

（代理：土木グループマネージャー 矢内 弘人）

気象庁 新潟地方気象台 次長 吉松 和義

北陸地方整備局 三国川ダム管理所長 帆苺 晃也

北陸地方整備局 信濃川河川事務所長 日下部 隆昭

□オブザーバー

東日本旅客鉄道（株）新潟支社長 弾間 俊則（欠席）

#### 4. 議 題：

- (1) 情報提供
- (2) 幹事会の報告について
- (3) 信濃川中流及び魚野川大規模氾濫に関する減災目標を達成するための取組状況の報告について
- (4) 連絡事項等について

#### 5. 議事概要：

##### (1) 情報提供

- ・信濃川河川事務所より
  - ①水防法等の一部改正について
  - ②避難勧告等に関するガイドライン改定について
  - ③洪水情報のプッシュ型配信の開始について
  - ④大規模工場等への水害リスク情報の説明
- ・長岡地域振興局より
  - ⑤県・水ビジョンに関連する取組の実施状況
- ・新潟地方気象台より
  - ⑥新たなステージに対応した防災気象情報の改善について情報提供を行った。

##### (2) 幹事会の報告について

- ・第2回協議会以降、2度行われている幹事会について、事務局より報告を行った。

##### (3) 信濃川中流及び魚野川大規模氾濫に関する減災目標を達成するための取組状況の報告について

- ・各構成員より大規模氾濫に関する減災目標を達成するための取組状況の報告を行った。

#### 【構成員からの主な発言内容（目標達成に向けた現在までの取組状況等について）】

##### <信濃川河川事務所（北陸地方整備局）>

- ・ハード整備として、小千谷市川井地区で堤防整備・浸透対策、小千谷市岩沢地区などで河道掘削を進めている。
- ・長岡市天神地区、魚沼市根小屋地区などでは、堤防天端の保護や堤防裏法尻の補強を危機管理型ハード対策として整備した。
- ・このほか、簡易水位計やCCTVカメラを設置し、リアルタイムで監視しインターネット等で公開している。また事務所の非常用自家発電設備の耐水化を実施している。
- ・ソフト対策として、長岡市東川口地区をフィールドとした地域住民主体の防災ワークショップで、最大規模降雨の浸水想定について説明した。

<新潟地域振興局地域整備部>

・「新技術を活用した水防資機材の検討及び配備」として水防倉庫に棚を設置し、水防資機材の収納力を向上させ使いやすさを良くした。

<三条地域振興局地域整備部>

・「排水計画に基づく排水訓練の実施、排水機場・水門・樋門等の情報共有」として、信濃川下流河川事務所と三条市と出水期前に操作訓練を行っている。訓練は地元に戻覧板で周知しており、住民が毎年20名ほど見学に来るので危機管理のアピールにもなる。

・五十嵐川の災害復旧助成事業で笠堀ダムの嵩上げと遊水地の整備を行っており、遊水池は今年度から暫定的な運用が出来る状況になっている。

<長岡地域振興局地域整備部>

・「住民を対象とした水防災教育の実施」として、長岡市と小学校、町内会を対象とした出前講座を行い、過去の水害や改修計画、整備効果等を説明している。併せて、整備がたとえ完了しても、計画を超えるような災害を起り得ること、日頃からの備えが重要だと説明している。今後協議会で検討されている内容等も講座に盛り込み、水防災意識の再構築に向けて取り組んでいく予定。

<気象庁 新潟地方气象台>

・「情報伝達・避難計画等に関する取り組み」として、気象情報発信時の危険度の色分け、警報級の現象等の可能性などについて、平成28年度出水期より自治体関係機関向けに試行的に提供してきた。これらは平成29年度の出水期を目処に一般向けへの提供を開始する計画になっている。

<新潟市>

・「要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施」として、昨年11月30日に要配慮者利用施設の管理者約350名を対象に説明会を実施した。計画作成にあたっての必要な事項等について説明した。

<見附市>

・ソフト対策の取組ということで「住民を対象とした水防災教育の実施」として、小中学校での防災教育を実施している。平成28年度は3小学校、1中学校で実施して、のべ660名が参加している。内容としては、見附市の防災対策とハザードマップの活用方法についての説明、自然の二面性である災害等の危険を理解してもらうためのEポート体験、DIG訓練等を行っている。小中学校で防災教育を実施することで、自然災害などから自分や家族の命を守るために、自ら考え、判断、行動できる力を身につけることを期待している。

<南魚沼市>

・「住民体験型の防災訓練の実施」についての取組概要ということで、毎年実施している市の総合防災訓練を、従来からの消防団等の関係機関による実務中心の訓練内容から、住民参加型の体験訓練中心の内容に変更して平成28年度から実施している。関係機関の協力のもと各種体験コーナーを設け、小学校を中心に多くの地域住民から参加してもらい、自然の驚異や災害のシステムを知ってもらうことにより、災害時の初期対応や自身の取るべき行動を考えてもらい、防災意識の向上を図り地域防災力の向上につなげることを目的に実施している。

<弥彦村>

・「まるごと・まちごとハザードマップの整備・拡充」として、村内24箇所に想定浸水深、標識などの設置を完了した。設置箇所は保育園3園を含め集落の集会場など目に付く場所に設置した。

**【ハザードマップ作成について】**

<信濃川河川事務所（北陸地方整備局）>

・ハザードマップ作成についての検討事項、記載事項について説明。

<長岡地域振興局地域整備部>

・ハザードマップ作成に関する交付金制度について情報提供。

(5) 連絡事項等について

・今後のスケジュールについて事務局から説明

以上を踏まえ、協議会構成員で協力して取組方針に基づき引き続き取り組んでいくことを確認した。

－ 以 上 －